

目標達成計画

事業所名: グループホームいずみ

作成日: 平成 30年 1 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	⑩ D	普段、利用者様の居室に入る際は、必ず入室する事を伝え許可を得ているが、外部評価当日、調査員の方を案内する際に伝える事をしなかった。当日の朝、入室する事の許可を得た事で良いかと自己判断をしてしまった。	入室する際は必ず、入室する理由を伝え許可を得てから入室するように、職員全員が入室するたびに、許可を得てから入室する。	ミーティング等で、職員全員に周知して頂き、実践する。	24 ヶ月	ミーティング時に職員に説明し翌日から実践している。
2	⑱ B	職員全員が個々の健康状態を緊急を用する際にも直ぐに即答出来るよう利用者様情報を活用しているが、口腔内情報が記載されていないかった。	職員全員が利用者の口腔内状態を把握し緊急時に即答できるよう対応していく。	職員全員が利用者の口腔内状態の把握を行い、利用者様情報に口腔内記載情報欄を設け、職員全員、又新入社員が口腔内情報が解る様にする。	1 ヶ月	利用者情報に口腔内情報欄を設け記載した。
3	③⑦ G	2ヶ月に1度発行している施設だよりにて職員の異動や行事などの報告はしていたが、事業所の運営上の事柄や出来事、設備改修や機器の導入退職者等の報告は家族様には報告していなかった。	事業所の運営上の事柄や出来事、設備改修や機器の導入退職者等の報告を家族様に周知して頂く。	施設だよりや、月に一度の情報提供のお便りにて施設改修や機器の導入、退職者の報告等を行う。又、面会、来訪時にも説明し家族様全員に報告できるように努める。	2 ヶ月	1月のお便りに施設周囲の塀が老朽化したため、改修した事を記載した。今後も継続し報告していく。
4	④⑩ B	運営推進会議では、利用者やサービスの実態、評価への取り組み状況(自己評価、外部評価の内容、目標達成計画の内容と取り組み状況等)について報告していない。	運営推進会議のメンバーに利用者サービスの実際、評価への取り組み状況(自己評価、外部評価の内容、目標達成計画の内容と、取り組み状況等)を知って頂く。	運営推進会議の時に利用者サービスの実際、評価への取り組み状況(自己評価、外部評価の内容、目標達成計画の内容と、取り組み状況等を報告する。	12 ヶ月	12月の運営推進会議時に自己評価外部評価の内容、課題点、問題点を報告した。次回2月の会議時には、目標達成計画を報告する予定である。
5	④⑩ C	運営推進会議では、事業所からの一方的な報告で終わりではなく、会議で出された意見や提案等を日々の取り組みやサービス向上に活かし、その状況や結果等について報告していなかった。	運営推進会議では、事業所からの一方的な報告に終わらず、会議から出された意見や提案等を日々の取り組みやサービス向上に活かし、その状況や結果等について報告していく。	まずは、会議から出された意見や提案等を日々の取り組みやサービス向上に活かす。その状況や取り組み、結果等について運営推進会議で報告していく。	24 ヶ月	

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
6	④① E	運営推進会議の議事録を公表していない。	今後運営会議議事録を家族様に送付し把握して頂く。	利用者家族様には毎月状況を文章にて報告しているので今後運営推進会議の議事録を同封しご家族様に会議内容を周知して頂く。	2 ヶ月	
7	⑤① E	地域住民や消防署近隣の他事業所等と日頃から連携を図っていたが、合同の訓練や話し合う機会等をつくらず協力支援体制を確保していなかった。	地域住民や近隣の他事業所の方に避難訓練に参加して頂き話し合う機会をつくり協力支援体制を確保する。	事業所の避難訓練に地域住民や近隣の他事業所の方に参加して頂き話し合う機会をつくる。		2018/10/18、近隣のJAガソリンスタンドの職員に避難訓練に参加して頂き協力支援体制を確保した。
8	②⑨ A	玄関のカギをする事の弊害は理解していたが、利用者様の安全を確保するため玄関を施錠していた。	日中施錠する事無く誰でも出入りできるよう開錠する。	利用者様が帰宅願望なく落ち着かれている時事務所に管理者が介護支援専門員が在席している時は開錠する。	24 ヶ月	事務所に管理者介護支援専門員が在席している時は開錠している。
9	④⑨ D	評価結果と目標達成計画を市町、地域包括支援センター、運営推進会議メンバー、家族等に報告していなかった。	評価結果と目標達成計画を市町、地域包括支援センター、運営推進会議メンバー、家族等に報告し、今後の取り組みのモニターをして頂く。	評価結果、目標達成計画を作成し市町職員、地域包括支援センター職員、運営推進会議メンバー、家族様に運営推進会議で報告し不参加欠席者には、書面にて報告する。	24 ヶ月	12/21、運営推進会議で外部評価結果の報告をした。次回の(2/22)運営推進会議にて目標達成計画を報告する予定である。不参加、欠席者には書面にて報告する。
10	③⑨ B	事業所は孤立する事無く、利用者様が地域の人達と、日頃から関係を深める働きかけをあまり行っていなかった。	事業所は孤立する事無く、利用者様が地域の人達と、日頃から関係を深める働きかけを行う。	事業所のイベント行事に地域に人々に声掛け参加して頂いたり、町内の活動や行事への参加を増やす。	24 ヶ月	12/23クリスマス会開催の際、地域の方に声掛けし参加して頂き、クリスマス料理を利用者様と一緒に食べて頂いたりレクレーションにも参加して頂いた。
11	④⑧ B	家族等が来訪時意見や要望が少ない	家族様との信頼関係を今以上に深め意見や要望を言いやすい関係づくりに努め意見や要望が増える。	家族会に一人でも多く参加して頂いたり、来訪者が増える働きかけを行い、多くの家族様と信頼関係の構築に努める。	24 ヶ月	
12	⑤ B	月1回のミーティング時に話し合いモニタリングを行ってきているが介護計画に沿ってケアが実践できたか確認するような取り組みも期待される。	日々介護計画に沿ったケアは行えている。介護計画に沿って行えているかの確認するような取り組みや記録を行っていく。	介護計画に沿ったケアの実践として職員全体で介護計画書の把握、モニタリング、実践等、日々の記録に記録していく。	24 か月	ミーティング時、問題点の説明と目標を決める。現場職員は少人数のため介護と日々の記録でいっぱいといった意見もある。現状を維持しながら実践できたか確認するような取り組みについて話し合う。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
13	⑤ ③	利用者の言葉身体状態を記入しているが介護計画に基づいた記録の記入量が少ない。	介護計画に基づいた記録の記入量を増やす。	職員もケア、日々の記録等時間的に余裕はないが、出来る限り介護計画に基づいた記録記入をしていく。	24 か月	ミーティング時、問題点の説明と目標を決める。現場職員は少人数のため介護と日々の記録でいっぱいといった意見もある。時間をかけ、いずみ独自の記録方法を考え話合っていく話し合いを行う。
14	5 1 ③	地域の高齢者や、認知症の人、その家族への相談支援を行っていない。	地域の高齢者や、認知症の人、その家族への相談が増える。	地域の高齢者や認知症の人、その家族様より信頼して頂けるような関係を作り相談して頂き支援を行なえるよう働きかける。	24 か月	地域高齢者の家族様より、相談を受け助言した。
15	5 1 ③	市町、地域包括支援センター、他の事業所、医療・福祉・教育等、各関係機関との連携を密にし、地域活動を協働する事が少ない。	市町、地域包括支援センター、他の事業所、医療・福祉・教育等、各関係機関との連携を密にし、地域活動を協働する事を多くする。	医療との地域ケア会議には引き続き参加し地域の保育園、他事業所、福祉等との連携を密にし協働していく。	24 か月	他の事業所との合同行事を働きかけを行い、合同行事を行う予定、その他地域の保育園児の慰問を行う予定を立てた。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】				
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)		
1	サービス評価の事前準備	☐	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った	
		☐	②利用者へサービス評価について説明した	
		☐	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした	
		☐	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した	
			⑤その他()	
2	自己評価の実施	☐	①自己評価を職員全員が実施した	
		☐	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った	
		☐	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った	
		☐	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った	
			⑤その他()	
3	外部評価(訪問調査当日)	☐	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった	
		☐	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた	
		☐	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た	
			④その他()	
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った	
		☐	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った (2月で報告行う予定、その後話し合う予定。)	
		☐	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った	
		☐	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った	
			⑤その他()	
5	サービス評価の活用	☐	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した	
		☐	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) (2/28運営会議にて説明する予定)	
		☐	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)	
		☐	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)	
			⑤その他()	